

リフォーム提案が上達する研修制度

家守りHD 「ファイナンスに的」目標200人

人材育成に力を注ぐ

家守りHD

(建物点検・維持管理
サービスで全国に拠点)

連携

JEMS

(提案人材の育成機関)

- ・基材再生調査士
- ・家守りアドバイザー
- ・家守りプロ
- ・家守りコーディネーター



家守りホールディングス
(東京都千代田区)
岡田浩一社長(51)

建物点検・維持管理サービスで国内約30の拠点を抱える家守りホールディングス(以下、家守りHD・東京都千代田区)が1月、建物の資産価値

を高める提案ができる人材育成の組織を立ち上げた。一般社団法人日本戸建住宅維持管理支援機構(JEMS)といい、4つの民間資格を設けた。9月で2回目の研修を経て、計20人が取得済み。月10人ずつ増えている。目先200人まで登録者を増やすという。

家守りHD代表でJEMS発起人の岡田浩一社長は、建物所有者が納得する効果的なリフォーム提案ができる人材を育てたいと強調した。

建物点検スタッフは、劣化状況を把握する能力に長けていても、修繕提案にあたり金銭的アドバイスができる人材は少数派。「例えば『200万円修繕できますよ。長い目でみたら支払額は減りますよ』といったファイナンスを考慮した提案は難しい」(岡田社長) 技術面ばかりでなく、所有者の資産にも気を配れる提案人材を増やしたいと考えた。提案力が身につく民間資格は次の2つ。点検・リペアに加え提案ができる「家守りアドバイザー」、それに加

えて施工技術まで習得する「家守りプロ」がある。家守りHDは2017年に現場監督人材を育成する一般社団法人日本第

三者住宅品質検査技術者認定機構(JAQUA)も立ち上げており、あらゆる分野で、育成・研修を進めている。